

2024年度 第2回 町田市男女平等参画協議会 議事要旨

日時： 2024年10月15日（火） 9時30分～11時30分

場所： 町田市民フォーラム3階 活動室

出欠： 五十音順・敬称略

出席：石川 英子、石阪 督規、岡本 直子、近藤 わかな、下田 幸子、鈴木 悟、
茶谷 武志、山口 隆三、吉浦 和幸

欠席：横島 佳子

議事：

1 男女平等参画協議会 石阪会長 あいさつ

2 男女平等推進センター所長 あいさつ

3 (1) 第5次町田市男女平等推進計画について

一事務局から資料2「男女平等推進会議の進捗状況評価結果一覧（案）」を説明、内容を承認一

～ I-1 お互いを尊重し合う意識の醸成～

【委員】新聞社等マスメディアを活用していけると良い。

【会長】若い人向けには別の媒体を活用する必要がある。

【事務局】インターネットでプレスリリースを配信する等WEB上で拡散が期待できる取り組みも進めている。

【会長】SNSの活用はどうか。

【事務局】各部署で行う事業のターゲットに合わせてSNSを活用し情報発信している。

【委員】特に若い方は、行政の情報へアクセスしないことが課題である。インフルエンサー等、広告塔になるような方を活用してはどうか。

【委員】興味がありそうな媒体に拡散して、そこから情報を得ていただくという方法も良い。

【委員】学校等教育機関と連携して発信していくことも有効と考える。

【会長】子ども向けに情報発信しているか。

【事務局】学校を通じて情報発信している。

【会長】学校で配布されているタブレットを活用することができるのであれば、直接子どもや保護者向けにアンケートを実施し、状況を把握することも大切である。

～ I-2 配偶者等からのあらゆる暴力の根絶～

【会長】女性悩みごと相談カードから相談につながっている方はいるか。

【事務局】女性悩みごと相談カードを通じて相談されている方もいる。

【会長】学校向けにデートDVに関する情報発信はしているか。

【事務局】毎年、大学や中学校でデートDV防止啓発授業を実施している。今年度は高校向けにも実施を予定している。

【委員】目に見えるDVだけでなくモラハラ等、目に見えないDVも対応いただきたい。

【委員】DV加害者への教育が必要である。

【会長】DV加害者にならないための支援が必要である。

【委員】意識づくりのための情報発信がとても大切である。相談員の方に最新の情報を提供し、情報の更新をしていただくことも大切である。

～Ⅱ-1 雇用や職業等の場における男女平等参画の推進～

特になし

～Ⅱ-2 仕事と家庭生活の調和に向けた育児・介護の支援～

【委員】電子申請の導入により利便性が向上したことは評価すべき点である。一方で、これまで入園前の面談などによって可視化されていた部分が見えにくくなるなど新たな課題が出てきた。

【会長】保育士は、賃金が低いことや労働時間が長いことが原因で減少している。保育士の待遇改善が必要である。

～Ⅱ-3 あらゆる分野における男女平等参画の推進～

【会長】町田市役所の女性管理職割合はどうか。

【事務局】全体で20%、事務職で10%程度である。家事・育児等との両立が課題と考えられる。

【委員】民間企業も同じ状況である。女性が管理職になるポストはあるが、全員が管理職を希望しているわけではなく女性の価値観も影響する。

【委員】保育園・幼稚園現場では、他の民間企業と比較して断然女性が多い職場であり、全体をまとめる役割は女性が多い。他業種と比較して賃金が低いため、男性が別業種にいつてしまうことがある。

【委員】外資系企業の中には長時間労働がなく、家事や育児等と両立しながら、女性が管理職を担い成長している企業もある。

【委員】企業は男女問わず、従業員の働き方について考える必要がある。

【委員】ここ10年ほどで指定労働時間を減少させている企業も多い。

【委員】女性管理職を増やすためにはロールモデルが必要であり具体的な改善案も必要である。

【委員】民間企業に波及するためには、まずは市が数値目標を達成し、ロールモデルとしてお手本になる必要がある。

【会長】家事・育児等と仕事の両立を担っている人と仕事に専念できている人では能力の見方が違うのではないか。戦略的に女性の登用は必要である。

【会長】附属機関等における女性委員比率はどのような状況か。

【事務局】30%程度である。

【会長】各部署に働きかけはしているか。

【事務局】働きかけをしているが、分野によって比率に偏りがある。組織から推薦される枠の場合、男性が多い傾向にある。各部署への新たな依頼方法も検討している。

【会長】市民委員枠を増やすことも1つの解決方法である。

(2) 町田市仕事と家庭の両立推進企業賞の見直しについて

―事務局から資料3「町田市仕事と家庭の両立推進企業賞の見直しについて」を説明、内容を承認―

【会長】チラシに企業のメリット、スケジュール、年度を掲載してはどうか。

【委員】表彰式について、オープンな場で行うことや代表者だけでなく社員等も参加できるような形式で開催できると良い。

【委員】産業政策課と実施している技能功労者表彰と合わせて啓発していくと効果的ではないか。周知について協力できると考えている。

【委員】受賞理由を明確化するなど価値づけが必要である。

【委員】ハローワークの求人票に受賞企業であることが記載できるようになる等、採用など人材確保につながる視点での企業のメリットを検討してほしい。

【委員】委員としても、求人の際に、受賞企業であることを知ってもらう機会を作ってもらえるよう働きかけをしていく。

【会長】応募方法はどうか。

【事務局】今後検討していく。

4 報告

―事務局から性の多様性に関する市政モニターについて報告―

―鈴木委員から商工会議所女性会連合会で開催した講演会の報告―

5 その他

特になし

6 事務連絡

・報告書、市政モニターの実施結果について後日送付

以上